

※開催時期等が変更・中止になる可能性があります。くわしくは市ホームページ等でご確認ください。



歳時記

伝統ある祭礼から、地域性を生かしたイベント、
季節を感じさせる行事など、
さまざまなお祭り・イベントがあります。



三郷市さつき展

市の花「さつき」が一堂に会するイベントです。「さつき」の栽培を推進し、訪れた多くのかたに潤いと安らぎを与えています。



春の花いっぱい運動



みどりと“友”に健やかに成長するガーデンシティみさとを目指しています。プランターへの花植え、草花や苗木の無料配布、緑の募金運動などが行われます。

春の三郷は、あちこちで花を楽しめます。花の名所はP25



三匹の獅子舞

例年、7月の第1日曜日を最終日とし、3日間行われる祭礼。長寿や五穀豊穡を祈って三匹の獅子が踊ります。



番匠免の大般若経祭り

寺の住職が神社で大般若経を転読した後、木箱に収めます。それを若い衆が担ぎ、町内の各家をまわり、玄関前に置き厄除けと疫病退散を祈願します。



二郷半囃子・里神楽

氏子の安全や疫病退散、五穀豊穡を祈願して祭礼の時の余興として披露されます。江戸時代より引き継がれているもので、里神楽と称する神楽が行われます。



開催時期	イベント名	会場(地区)
7月	第1日曜日を含む金～日曜	三匹の獅子舞 C 香取神社(戸ヶ崎)
	8日前後の土曜	番匠免の大般若経祭り D 迎福院・神明神社(番匠免)
	第2土曜	二郷半囃子・里神楽 E 香取神社(上戸)

歳時記



misato style

jazzの生演奏を聴きながら、さまざまなグルメを味わえる、人気イベントです。夜は幾多のキャンドルライトが会場を彩ります。



Misato Halloween Fes

パレード、仮装コンテスト、チャンバラ大会、グルメ出店などが行われます。友達や家族と仮装して参加してみませんか。



産業フェスタ

(商工まつり・農業祭)

商工まつり、農業祭を同時開催する秋の一大イベントです。商工まつりでは、お楽しみ抽選会、工業物産展などを行います。農業祭では、地元産野菜の品評会と即売などが行われ、多くの人でにぎわいます。



開催時期	イベント名	会場(地区)
9月	下旬	環境フェスタ・生活安全フェア
	上旬	花火大会
	中旬	misato style F
10月	15日前後の日曜	幸房・岩野木の獅子舞
	中旬～下旬	Misato Halloween Fes G
	下旬	三郷市菊花展
	下旬	三郷市民文化祭
	下旬	秋の花いっぱい運動

※開催時期等が変更・中止になる可能性があります。
くわしくは市ホームページ等でご確認ください。

三郷駅前広場



におどり公園



イルミネーション

毎年、三郷駅前広場とにおどり公園がイルミネーションで彩られています。市内のクリスマスや年末年始を明るく盛り上げます。



三郷市のオビシヤ

(大広戸の蛇祭り)

氏子の五穀豊穡を祈るとともに、稲藁で蛇をつくり無病息災の厄払いを行います。近年は「蛇祭り」ともよばれ、その始まりは寛文年間(1661～73)にさかのぼります。



開催時期	イベント名	会場(地区)
11月	中旬	産業フェスタ H (商工まつり・農業祭)
	11月下旬～2月下旬	におどり公園 I イルミネーション
12月	12月上旬～3月中旬	みさとイルミネーション J
1月	10日	三郷市のオビシヤ K (大広戸の蛇祭り)



自然・スポーツ・景観

人々の憩いの場となっている公園やスポーツを楽しめる施設、花の名所など、お出かけスポットが数多くあります。自然豊かで整備された三郷市をぜひ満喫してください。



みさと公園

園内には、芝生広場や大型の複合遊具などがあり、家族づれでにぎわっています。桜の花見をはじめ、6月上旬には花菖蒲が心をなごませ、親しまれています。

📍 高州3丁目地内



三郷市陸上競技場

(セナリオハウスフィールド三郷)



日本陸上競技連盟が認定する第3種公認陸上競技場です。400mブルートラックと、大型映像装置も備えています。本格的な競技大会も行われます。

📍 泉3-4

早稲田公園



木々が多く散歩にも最適な公園です。春は桜が咲き誇りお花見スポットとなっています。夏季は、プールが開園され家族づれに人気です。

📍 早稲田4-4

三郷スカイパーク

中川水循環センターの上部に整備された都市公園で、面積は約7haの全面芝生でおおわれた多目的広場(5面)、ウォーキングコースなどがあります。

📍 彦沢3-51-1



江戸川土手



サイクリングロード

江戸川の土手を利用した全長約40km(三郷市～幸手市)、片道約2時間のサイクリングコースです。南に下ると葛飾区、橋を渡ると千葉県側のサイクリングロードに通じています。



みさとの風ひろば

三郷駅直近の堤防上に整備された休憩施設で、見晴らしの良い眺めはもちろん、野鳥などの自然観察も楽しめます。



みさと花の名所

江戸川と中川の河川敷をはじめ、さまざまな用水路の緑道や遊歩道では、四季折々の花木が楽しめます。



📍 栄3丁目

3月下旬～4月上旬【桜】 二郷半用水緑道

新日本歩道紀行「水辺の道100選」に認定されました。水路の両サイドにカラー塗装の遊歩道を敷設し、緑地帯には、ソメイヨシノ、ミカン、ツツジなどが植えられています。

6月【サツキ・ツツジ】 下第二大場川水辺の遊歩道(プロムナード)

水辺にせりだす半円形石段がシンボルとして作られ、4月から5月にかけて遊歩道沿いにヒラドツツジが咲き、キシウブやアシなどの湿生植物が水辺を装飾します。



📍 戸ヶ崎4丁目



📍 三郷新和2・4丁目

3月下旬～4月上旬【桜】 6月【サツキ・ツツジ】 新和さくら遊歩道

江戸川土手沿いにある南北約1kmの遊歩道。春には約140本の桜がいつせいに開花し、ちよつとした桜の名所に。サツキやツツジなどが多数あり、3月下旬から6月下旬が見頃です。



歴史・文化

川と共に歴史を刻んできた三郷市。
当時の人々の暮らしぶりや文化を現代に伝えてくれる
貴重な文化財が数多く残されています。



郷土資料館

ふるさと三郷について、
歴史や文化財を紹介して
います。
※不定期に展示替えを
行っています。

- 📍 谷口618-1
- 🕒 火～金曜日：午前9時30分～午後7時
土・日曜日、祝休日：午前9時30分～午後5時
- 📅 毎週月曜日、第4木曜日、年末年始
※市立図書館の休館日と同じ。



外観



市指定文化財

彦成小学校講堂記念館

大正15(1926)年に彦成村立尋常高等小学
校の講堂として建築された建物を利用し、三
郷の教育や農具・民具などを展示しています。

- 📍 彦倉1-133
- 🕒 火・木・土・日曜日：午前10時～午後4時
- 📅 月・水・金曜日、祝休日、年末年始

三郷の民話



三郷には、各地区に語り継がれているさまざまな民
話があります。そのうちの8話を手づくり絵本サークル
「ハモニカ」が再話し、絵本に仕立てました。お近
くの図書館や図書室にありますのでご覧ください。
また「三郷の民話集」は教育委員会日本一の読書の
まち推進課で有償頒布(1冊500円)しています。
※電子図書館では、ログインなしで読むことができます。



電子図書館
QRコード



かっぱとわらびと



おおかみづか



ひろうと弁天さま



ごろうとごろうすけ



きつねの嫁と里



こころさま

さくらうさま

こころさま

観音堂(迎攝院)

市内最古の建物で、室町時代に建立されたと推
定されます。建物に使用されている用材は、全て
この土地に育った樹木であるといわれています。

📍 番匠免1-127-1



市指定文化財



市指定文化財

木造虚空蔵菩薩立像(延命院)

戦国時代初期の文明18
(1486)年に古刀瀬川(現
中川)で発見され、村民が
堂を建てて祀ったと伝
わっています。弘法大師
の作とも言われ、延命院
虚空蔵堂(市指定文化財)
内にあります。

📍 彦倉1-83-1

市内の文化財一覧

市指定文化財一覧

名 称	所有者・管理者氏名	所在地
大銀杏	安養院	彦倉1-10
鯉口	戸ヶ崎香取神社	戸ヶ崎2-38-1
観音堂	迎攝院	番匠免1-127-1
二郷半獅子・里神楽	上口二郷半獅子里神楽保存会	上口
銅造十一面観音坐像	石川 徳利	茂田井725-1
十三仏青石塔婆	東光院	上口1-67
木造不動明王立像	円能寺	彦倉1-71-1
木造阿彌陀如来立像	宝壽寺	高州3-123-1
三匹の獅子舞	香取浅間神社獅子舞保存会	戸ヶ崎2-38-1
木造薬師如来坐像	光福院	早稲田8-15-13
木造不動明王立像	円明院	彦成1-179-1
万作踊り	三郷市万作踊り保存会	市内全域
木造阿彌陀如来立像	西善院	花和田189
木造阿彌陀如来立像	玉蔵院	天神1-59
木造地藏菩薩立像	玉蔵院	天神1-59
木造地藏菩薩立像	東福寺護持会(横堀公民館)	新和4-620
番匠免の大般若経祭り	番匠免大般若経祭保存会	番匠免1-127-1
幸房・岩野木の獅子舞	富足神社獅子舞保存会	岩野木119
木造虚空蔵菩薩立像	延命院	彦倉1-83-1
延命院虚空蔵堂	延命院	彦倉1-83-1
彦成小学校講堂記念館	三郷市	彦倉1-133
河辺三ヶ寺宛伊奈忠次開発手形	円明院	彦成1-179-1

県指定文化財一覧

万葉遺跡葛師早稲産地	丹後稻荷神社境内	早稲田8-17-8
------------	----------	-----------

県選択無形民俗文化財一覧

番匠免の大般若経祭り	番匠免大般若経祭保存会	番匠免1-127-1
三郷市のオビシヤ	大広戸香取神社氏子	三郷3-14-5

--- ららぽっとみさと ---

ららぽーと新三郷内にある三郷市の情報発信拠点です。
市内で行っている市政情報・イベント情報のほかに、歴
史・伝統文化などの紹介を広く皆さんにお知らせしてい
ます。その他にも三郷市マ
スコットキャラクターの紹介
や、グッズ販売などを行っ
ています。

📍 新三郷らシティ 3-1-1





農産物

都市型農業がさかんな三郷市では
即売所も多く、採れたての新鮮な野菜や
果物がたくさんあります。



三郷ジュシーあすぱら

近年、アスパラガスの栽培が盛んになってきました。明治大学野菜園芸学研究室監修の三郷ジュシーあすぱらは、とても新鮮でジュシー。3月下旬から6月上旬まで収穫されています。



みさと観光農園・即売所ガイド



市内の「観光農園」と新鮮な野菜や果物が購入できる「即売所」のガイドブックを作成しました。冊子は農業振興課をはじめ、市内公共施設やらほっとみさとで配布しているほか、市ホームページでも閲覧できます。



三郷秋どりえだまめ

えだまめは、6月下旬から8月中旬が旬ですが、三郷秋どりえだまめは、9月下旬から10月にかけて収穫されます。秋に気温が下がることで、時間をかけてじっくりと熟成され、旨味がぎゅっと詰まるのでおいしくなります。

とれたてを買うならココ

三郷市とれたて野菜直売所「べじ太くん」

新鮮でおいしい農産物といったら、「べじ太くん」。三郷市産の旬の野菜のほかにも農産物がたくさん販売されています。

📍 幸房101
☎ 952-2141
🕒 午前9時30分～午後4時
月、金曜、年末年始は休み



小松菜

年間を通して収穫されています。三郷市は、生産量が全国2位の埼玉県でも有数の小松菜の産地です。栄養たっぷり風邪予防や美容に効果があると言われています。



小松菜料理の
レシピはこちら



かいちゃんも
大好き！

三郷限定 特別純米酒 「におどり」



「におどり」は、「三郷市独自の誇れる名産品を」との思いから、越谷小売酒販組合三郷支部をはじめ、市、観光協会、市内農家、商工会、JAさいかつ、醸造元の武甲酒造など、多くのかたがたの協力によって開発されました。三郷市産米(100%)を原料に、名峰・武甲山の伏流水で醸した香り高い味わいをぜひご賞味ください。



三郷市産コシヒカリ100%使用



贈り物にも



限定特別純米酒「におどり」は11年連続(2014～2024年)、純米原酒「におどり」は8年連続(2017～2024年)でモンドセレクションのスピリッツ&リキュール部門で金賞を受賞しています。

三郷の 観光情報なら ココ！

一般社団法人 三郷市観光協会

三郷市観光協会は 三郷市の自然、景観、文化、歴史、産業、技術、スポーツイベントなどの観光資源を活用して観光事業の振興を図ることにより、市の魅力を高め市内の人々との交流を促進し、もって地域文化の維持発展及び地域経済の活性化に寄与することを目的に令和2年に法人化しました。観光イベントの実施、観光情報の発信などを柱とする事業を行っています。

【事務局】〒341-8501 埼玉県三郷市花和田648-1
三郷市役所内 ☎ 930-7821



三郷市観光協会
公式HP



misatokankou

Misatocity.t.a

三郷市のSDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組み

SDGsは発展途上国のみならず、先進国の政府、民間企業、NGO、自治体、個人などあらゆる主体が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、三郷市でも積極的に取り組んでいます。

SDGs(持続可能な開発目標)とは…

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」という理念の下、経済・社会・環境をめぐるさまざまな課題解決に取り組みます。



SDGs × 第5次三郷市総合計画

第5次三郷市総合計画では、SDGsの考え方を取り入れ、世界共通の目標と、三郷市の現況や計画期間である2030年の将来都市像を見据えた中でSDGsと総合計画の関連付けを行っています。

総合計画とは

- 市の将来都市像を描き、まちづくりや経営の方針を明確にするもので、2030年度までの羅針盤となるものです
- 総合的かつ計画的な行政運営を行うための最上位となる計画です
- 市民と行政が「参加と協働のまちづくり」を進めるための「手引書」でもあります

「SDGs日本モデル宣言」への賛同

SDGs日本モデル宣言とは、地方自治体が国や企業、団体、学校・研究機関、住民などと連携して、地方からSDGsを推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していくという考え・決意を示すもので、官民連携パートナーシップ、民間ビジネスの力、次世代・ジェンダー平等の大きく3つの柱で構成され、政府が策定した「SDGs実施指針」及び「SDGsアクションプラン2020」にも位置付けられています。

三郷市でも、この宣言へ賛同し、地域のステークホルダー(関係者)との官民連携を進め、三郷市からSDGsを推進し地方創生を目指しています。

「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- ① SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- ② SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- ③ 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

